

I. 年度計画・目標

1. 海洋スポーツの普及を目的に、令和元年度の実施状況をふまえ、関連公開講座、学長杯オープンヨットレースを開催する。
2. 地域振興を目的に、地域海洋スポーツ関連事業に協力する。
3. セーリング競技等における競技力向上に関する合宿を開催する。
4. 協力者会議を開催し、年度を総括するとともに、海洋スポーツ研究第27号を発刊する。

II. 事業計画（各事業の主担当者名／実施期間）

1. 教育（授業に関するものを除く）プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から社会情勢を考慮しつつ、適宜計画する。

- (1) 指導者育成（主担当 中村／令和3年10月～令和4年3月までの期間で実施検討）

自然体験活動指導者（NEALリーダー）資格取得講習会の開催

- (2) 小型船舶免許取得講習会の開催

学内教職員・学生を対象とし、希望者5名程度以上の場合に実施

- (3) 近隣小・中学校への海洋スポーツ実施機会の提供と学生の指導実習の合同プログラム（主担当 中村）

令和元年度まで高須小学校を対象に実施されてきた。小学校の統廃合および感染症拡大予防の観点から令和2年度から、当該事業は一時中止とした。令和3年度より社会情勢を見極めながら、再開を目指した検討を進める。

2. 研究プロジェクト

- (1) 生涯スポーツとしてのSUP（スタンドアップパドルボード）が体力に及ぼす影響

（主担当 中村・榮樂／令和3年 通年）

海洋スポーツ活動のうち、特にSUPを対象とし、生涯スポーツとしての普及振興を図るため、SUP運動の体力特性や健康増進効果を検討する。

- (2) カヌースプリント競技・ボート競技の競技力向上に関するパフォーマンス研究

（主担当 中村／令和3年 通年）

パフォーマンス向上のためのトレーニングメニューに関する生理学的、力学的観点からの見直しと改変を実施し、実施回数やトレーニング頻度を加味した効果的なトレーニングメニューの検討、または選手個人の実践効果を検討する。

- (3) セーリング競技における指導者用テキストの作成（主担当 榮樂／令和3年 通年）

セーリング競技における（レーザー級）指導者用テキストのコンテンツを充実させる。特に、初心者指導に対するコーチングの基礎資料を追加することを目指す。

3. 社会連携・社会貢献関係プロジェクト

新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から社会情勢を考慮しつつ、適宜計画する。場合によっては計画変更および中止もありうる。

(1) 学長杯オープンヨットレース

(主担当 榮樂・坂口・中村／令和3年8月29日(予定))

学長杯オープンヨットレースにて、ヨットレースに加え、他種目(カヌー、スタンドアップパドルボードなど)レースまたは体験会を実施する。

(2) カノヤカップヨットレース大会協力

(主担当 榮樂・坂口・中村／令和3年8月28日(予定))

鹿屋海洋スポーツクラブが主催するヨットレースへの運営協力、およびレース終了後の講習会(実技指導等)を企画する。

(3) 公開講座(中村・榮樂・坂口)

①公開講座A:楽しいマリンスポーツ

(主担当 榮樂・中村・坂口／令和3年4月11日(日)~5月16日(日))

半日講座を4回および1日講座を1回で、計5回の講座を企画する。ヨットやカヌーを中心とし、経験の浅い者が、安全で楽しく継続した活動を行うために必要な知識と操船技術を学ぶことを目的とする。講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることが理想で、参加者・応援者として活動が出来るような活動場所を推薦する。

②公開講座B:楽しいスキューバダイビング(初級者編)

(主担当 中村・榮樂・坂口／令和3年5月12日(水)~6月27日(日))

プール7回(水曜日19時~21時)、海1回(日曜日9時~16時)で、計8回の講座を企画する。安全に楽しくスキューバダイビングを実施するための知識と技術を習得することを目的とし、講座終了後、参加者自身でマリンスポーツを楽しめるようになることを目指す。

③公開講座C:少年少女楽しいマリンスポーツキャンプ

(主担当 榮樂・中村・坂口／令和3年7月27日(火)~7月29日(木))

安全に楽しく海浜活動・海洋スポーツ活動を行い、海洋スポーツの基礎技術の習得と磯観察等による環境学習を行う。また、集団活動、可能であれば2泊3日の宿泊を伴う集団生活を通して、仲間づくりや仲間とのコミュニケーションの取り方を体験する機会を提供する。

(4) 鹿児島県教員10年経験者研修(パワーアップ研修)

(主担当 中村・榮樂／令和3年8月初旬)

中学・高等学校教員を対象とした、水辺および海洋スポーツ活動の安全な実施について体験研修を実施する。なお、鹿児島県教員10年経験者研修(パワーアップ研修)を開講する年においては教職免許更新講習会の講座は開講しない。

(5) マリンフェスタ in かのやへの協力

(主担当 中村・坂口・榮樂／令和3年7月中旬(未定))

マリンスポーツ部門におけるイベントの企画・実施・運営を担当する。主な種目は、ヨット、ウィンドサーフィン、カヌー、スタンドアップパドルボードの4種目であり、ヨット部、ウィンドサーフィン部、カヌー部、ボート部学生の協力を得る。

(6) 大隅青少年自然の家との事業協力(主担当 中村・坂口・榮樂／令和3年 通年)

相互に、海洋スポーツ用具の使用および事業展開における人的交流をはかる。大隅青少年自然の家の海洋スポーツ関連事業に関する人的協力には、学外スポーツ実習への対応をしていただけるよう企画・調整する。

(7) 海洋スポーツの指導者養成と地域連携事業の拡充(重点プロジェクト)

(主担当 中村・榮樂・坂口／令和3年 通年)

令和2年度までの3か年計画で実施された、「海洋スポーツによる地域発イノベーションの創出および地域連携の充実」プロジェクトの成果を受け、さらなる連携体制の拡充と有益な各種学術情報の公表を推進する。また、指導者育成に関する各種課題の検討を進める。

4. その他

(1) 協力者会議の開催(主担当 中村・榮樂／令和3年12月7日予定)

現在のところテーマは未定。

(2) 競技スポーツにおける試合・合宿への協力(主担当 榮樂・中村)

セーリング競技における競技力向上のための試合・合宿に協力する。現在のところ、開催の有無は決定していない。

(3) 外部団体海洋スポーツ実習の受け入れ

業務に支障のない範囲で、教育団体を主とした外部団体の海洋スポーツ実習を受け入れる。その際、学外スポーツ実習の場として活用できることを原則条件とする。

Ⅲ. 予算計画(附属施設経費(海洋スポーツセンター経費)2,706千円)

1. 教育プロジェクト 210千円

区分	金額	内訳
人件費	50千円	講師謝金
物件費	0千円	備品費、消耗品費 等
その他	160千円	講師旅費

2. 研究プロジェクト 0千円

区分	金額	内訳
人件費	0千円	
物件費	0千円	
その他	0千円	

3. 社会連携・社会貢献プロジェクト 120千円

区分	金額	内訳
人件費	60千円	学長杯運営補助賃金
物件費	60千円	消耗品費 等
その他	0千円	小荷物運送 等

4. その他 2,376千円

区分	金額	内訳
人件費	64千円	協力者謝金 学生補助謝金
物件費	2,072千円	燃料費、保守・修繕費、修繕関連消耗品 印刷製本費、その他管理運営費等
その他	240千円	協力者旅費 職員研修旅費